

指定医師が記入してください

様式第6号（第8条関係）

身体障害者診断書・意見書（視覚障害用）

総括表

氏 名	滋賀 太郎	大正 昭和 平成 ()	○ 年 △ 月 × 日	男・女
住 所	滋賀県○○市○○町○○番地			
① 障害名（部位を明記）	両眼視力障害、両眼視野狭窄			
② 原因となった 疾病・外傷名	両眼 網膜色素変性症	交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、 <u>疾病</u> 、先天性、その他（ ）		
③ 疾病・外傷発生日	平成 20 年 頃 月 日	場 所	不詳	
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）	平成20年4月、両眼の視力低下を主訴に初診。上記と診断された。 経過観察中に白内障が進行したため、平成23年6月に手術を施行した。 その後徐々に状態悪化し、現在は外来通院中である。 障害固定又は障害確定（推定）平成 20 年 頃 月 日			
⑤ 総合所見	両眼の視力障害、視野狭窄により、日常生活に著しい支障をきたしている。 視力、視野の改善は望めないと考える。 〔 障害程度の改善の見込み <u>無</u> ・ 有 〕 〔 時期： 年 月 頃 〕			
⑥ その他参考となる合併症状	糖尿病			
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 2018 年 7 月 1 日 病院又は診療所の名称 ○○クリニック 所 在 地 滋賀県○○市○○町○○番地 診療担当科名 眼 科 医師氏名 近江 一郎				
身体障害者福祉法第15条第3項の意見 【障害程度等級についても参考意見を記入】 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に 該当する (2 級相当) ・ 該当しない { 視力 3 級 視野 4 級				
注 1 障害名には現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」（別様式）を添付してください。 3 障害区分や等級決定のため、滋賀県社会福祉審議会から改めて次頁以降の部分についてお問い合わせする場合があります。				

視覚障害の状況及び所見

1 視力

	裸眼視力	矯正視力
右 眼	0.03	0.05 × -1.25 D ⊖ cyl 0.75 D Ax 140°
左 眼	0.04	矯正不能 × D ⊖ cyl D Ax °

2 視野

ゴールドマン型視野計

(1) 周辺視野の評価 (I/4)

① 両眼の視野が中心 10 度以内

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右	8	7	8	9	8	7	8	9	64	度 (≤80)
左	8	6	6	8	8	8	8	7	59	度 (≤80)
② 両眼による視野が2分の1以上欠損 (はい・いいえ)										

(2) 中心視野の評価 (I/2)

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右	7	7	6	7	8	7	7	7	① 56	度
左	6	7	8	8	8	7	7	6	② 57	度

両眼中心

(①と②のうち大きい方)

(①と②のうち小さい方)

視野角度 (I/2)

(57 × 3 +

56) / 4 =

56.75 度

または

自動視野計

(1) 周辺視野の評価

両眼開放エスターマンテスト 両眼開放視認点数

70 点

(2) 中心視野の評価 (10-2 プログラム)

右③ 点 (≥26dB)

左④ 点 (≥26dB)

両眼中心視野

(③と④のうち大きい方)

(③と④のうち小さい方)

視認点数

(× 3 +

) / 4 =

点

3 現症

	右	左
前眼部	特になし	特になし
中間透光体	人工的偽水晶体眼	人工的偽水晶体眼
眼底	網膜色素変性症	網膜色素変性症

視
野
コ
ピ
ー
貼
付

視野図を 添付

(注) ゴールドマン型視野計を用いた視野図を添付する場合には、どのイソプタが $1/4$ の視標によるものか、 $1/2$ の視標によるものかを明確に区別できるように記載すること。